

明中瓦版

発行 富田林市立明治池中学校

12月号 発行日 令和3年12月1日

1年の締めくくりに感謝の気持ちを・・・

自分自身を成長させるために・・・

校長 西田和弘

師走というフレーズがあちらこちらで聞かれるようになりました。11月の生徒集会で子どもたちに「感謝を伝えることの大切さ」について話をしました。その話とは、毎日、小中学生が安心して登校できるように見守りを続けてくださっている見守り隊の方々へ、「おはようございます」のあいさつとともに「いつもありがとうございます」という言葉を付けてみようという話です。

そして、先日、見守り隊の方からこんな言葉をかけていただきました。「校長先生、中学生が『ありがとう』と声かけてくれたよ」というものです。思春期まっさかりの中学生が、日頃の思いを言葉にして、感謝の気持ちをきちんと伝えてくれているのだと実感し、子どもたちを誇りに思う瞬間でした。

さて、12月24日の終業式の日、今年度2回目の小中サミットが開催されます。この小中サミットで児童会、生徒会のメンバーが小中一貫校の学園名について交流し、小中一貫校の理解を深化させようと計画しています。子どもたち自身が積極的に主体性を発揮して、小中一貫校になると「何が変わるのだろう」という発想ではなく、「どんな新しい学校にしたいのか、何を変えていきたいのか」を話し合い、力を発揮しようとしています。

私は、子どもたちに一貫校に関する保護者の方の思いや地域の方からの期待を感じながら、主体性を存分に発揮してサミットをすすめて成功させてほしいと願っています。

そして、どのような学園名になったとしても、「この学園名には私たちの『〇〇』という思いが詰まっているんだ」と胸を張って伝えてほしいとも思っています。

子どもたちにとって、子どもたちが遭遇する様々な出会いや出来事、経験は偶然の賜物なのかもしれませんが、その出会いや出来事、経験は子どもの成長のための必然ではないでしょうか。

この児童・生徒会の学園名の取り組みが、他者の思いを聞くことを通して自分の思いを作り上げたり確認できる機会になり、自分自身を成長させる手段や糧にしてほしいと思っています。

“Challenge! 進取果敢 MEIJIKE” を合言葉に!

小金台小・明治池中 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～